

## 第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について（案）

## 【 総 括 】

平成 28 年度～令和 3 年度を計画期間とする第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画について、6 年間の取組結果の検証を行った。

## (1) 目標達成率別状況

実績値が目標値にどれくらい近づいたかを示す【表 1】では、75%以上の達成率となっている項目が評価対象全 138 項目中 68 項目（49.3%）であり、項目の約半数が 75%以上の達成率となる結果となった。また、50%未満の達成率となっている項目は、54 項目（39.1%）となった。

部門別では健康福祉部門、生活基盤部門及び地域振興部門で、また地域（自治区）別では金城地域（自治区）及び三隅地域（自治区）において、75%以上の達成率をあげた項目が全体の 50%を超え、順調な達成状況であった一方で、計画策定時の数値を下回る結果も 35 項目（25.4%）でみられ、新型コロナウイルス感染拡大の影響が要因の一つではないかと考えられる。

目標達成率別状況【表 1】 ※実績値における目標値までの到達割合

目標達成率別状況	項目数	達成状況					
		100%以上	75%～ 100%未満	50%～ 75%未満	25%～ 50%未満	0%～ 25%未満	0%未満
部門別計画	110	41 (37.3%)	13 (11.8%)	11 (10.0%)	5 (4.5%)	10 (9.1%)	30 (27.3%)
Ⅰ 産業経済部門	26	8 (30.8%)	4 (15.4%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	8 (30.8%)
Ⅱ 健康福祉部門	14	8 (57.2%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	3 (21.5%)
Ⅲ 教育文化部門	21	6 (28.6%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (9.4%)	9 (42.9%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.2%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	10 (47.6%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (33.4%)
Ⅶ 地域振興部門	13	6 (46.2%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (15.3%)	3 (23.1%)
自治区別計画	27	10 (37.0%)	3 (11.1%)	5 (18.6%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	5 (18.5%)
1 浜田自治区	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城自治区	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
3 旭自治区	5	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
4 弥栄自治区	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.5%)
5 三隅自治区	8	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)
開かれた行財政運営の推進	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	138	52 (37.7%)	16 (11.6%)	16 (11.6%)	6 (4.3%)	13 (9.4%)	35 (25.4%)

## (2) 進捗評価別状況

目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうかを示す【表2】では、6年間の取組成果として、「A」または「B」評価の項目が、評価対象全138項目中103項目（74.6%）という結果となった。

これらの項目の中には、新型コロナウイルス感染拡大以前の4年間に目標達成に向けて順調に進んでいた項目や、「ヒラメ稚魚育成尾数の増加」「携帯電話不感地域の解消」などのように感染拡大の影響をあまり受けなかったもの、あるいは「ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加」「U・Iターン相談件数の増加」のように新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも対策を図り、目標を達成できた項目などがあった。

進捗評価別状況【表2】

進捗評価別状況	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	110	43 (39.1%)	41 (37.3%)	20 (18.2%)	6 (5.4%)	0 (0.0%)
Ⅰ 産業経済部門	26	7 (26.9%)	11 (42.4%)	7 (26.9%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)
Ⅱ 健康福祉部門	14	8 (57.2%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅲ 教育文化部門	21	6 (28.6%)	10 (47.6%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	12 (57.2%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	4 (44.4%)	1 (11.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
Ⅶ 地域振興部門	13	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自治区別計画	27	12 (44.5%)	6 (22.2%)	5 (18.5%)	4 (14.8%)	0 (0.0%)
1 浜田自治区	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城自治区	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3 旭自治区	5	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
4 弥栄自治区	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.5%)	0 (0.0%)
5 三隅自治区	8	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
開かれた行財政運営の推進	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	138	56 (40.6%)	47 (34.1%)	25 (18.1%)	10 (7.2%)	0 (0.0%)

※目標達成に向け6年間の取組が計画どおりかどうかを評価

### 《評価概要》

「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった

「B」 計画を少し下回る成果があった

「C」 計画の半分程度の成果となった

「D」 計画を大きく下回る結果となった

「E」 ほとんど成果がなかった

(3) 基本指標

基本指標	現 状	令和 7 (2025) 年度 (目標・推計値)
人 口 (国勢調査)	平成 27 (2015) 年推計値 <b>58,367 人</b>	<b>52,000 人</b>
出生数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 <b>年間 442 人</b>	<b>年間 400 人</b>
社会増減数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 <b>年間 ▲319 人</b>	<b>年間 ▲200 人</b>

基本構想に掲げる「人口」・「出生数」・「社会増減数」の 3 つの基本指標については、令和 3 年度末現在、人口 51,057 人、出生数 302 人、社会増減数▲458 人となっている。

社会増減については、年度別で見ると大きく減少しており、「転勤」を理由とした転出者の増が大きい一方、「同伴」を理由とした転入者の減など、新型コロナウイルス感染拡大による内外の人の移動への影響が考えられる。

また、「就職」による転出者も増加していることから、地元企業への就職者数の増加に向けた施策が必要である。そして、地元企業の魅力化や職場環境の整備に向けた施策に引き続き取り組んでいくとともに、ふるさと郷育や若者の地域活動への参画といった面からも、地元に残りたいと思える施策へ取り組む必要がある。

自然増減で見ると、死亡者数の増加、出生数の減少傾向に変化はなく、前期基本計画の過去 6 年間で最も大きい自然減となった。出生数については、若者の減少に歯止めがかからないことがその要因の一つと考え、「若者が暮らしやすいまちづくり」を中心とした施策の取組みが求められる。

◆ 人口 (目標値 : 52,000 人 【2025 年度目標値】)

	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	58,367 人	55,553 人	54,586 人	53,709 人	52,834 人	52,145 人	51,057 人

◆ 出生数 (目標値 : 年間出生数 400 人 【2025 年度目標値】)

	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	442 人	392 人	396 人	374 人	342 人	296 人	302 人
達成率		▲625.0%	▲575.0%	▲850.0%	▲138.1%	▲247.6%	▲233.3%

※2015 年～2018 年度は目標値を 450 人、2019 年度以降下方修正している。

◆ 社会増減数 (目標値 : 年間社会増減数▲200 人 【2025 年度目標値】)

	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	▲319 人	▲118 人	▲473 人	▲366 人	▲296 人	▲170 人	▲458 人
達成率		340.7%	▲261.0%	▲79.7%	39.0%	252.5%	▲235.6%

#### (4) 今後の取組み

本市が抱える最重要課題の一つは「人口減少」であり、特に若い世代の減少は著しい状況にある。

人口減少は、一朝一夕に解決できない構造的な課題であり、その課題解決に向けては多岐にわたる分野の取組を結びつけ、相乗効果が発揮されるよう対策を進めることが不可欠である。また、施策を総動員し、人口減少に係る課題に対して切れ目のない取組を実施していく必要がある。

今年度からの第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の取組みでは、「若者が暮らしたいまちづくり」を目指した施策の一体的な推進を図るが、その実施にあたっては、これまでの課題の分析を基に長期的な展望を持って政策を総合的に進めていくとともに、その進捗管理を適切に行い、適宜見直しを図ることとする。